

(市会改革推進委員会資料)

平成28年8月

**市立高校・中学校でのNPO等と連携した政治的教養を育む取組実践例
(教育福祉委員会要求資料)**

鈴木マサホ委員から教育委員会に対して要求された資料（平成28年7月14日の教育福祉委員会要求資料）を参考に配布いたします。

市立高校・中学校でのNPO等と連携した政治的教養を育む取組実践例

1 市立高校の取組について

(1) 各高校の特色ある取組状況等について

授業等において、平成27年度中に本市教育委員会が独自作成した「政治的教養を育む教育学習指導案集」及び文部科学省の副教材を活用し、模擬投票や政治への課題に関する実践的な学習活動を全校で実施するなど、政治的教養を育むとともに、地域や社会の課題に対して小中学校等と連携を図り、多角的な視点から考察・検証を行う地域連携・貢献事業や社会課題解決事業を全校において実施している。

また、選挙管理委員会と連携し、各学校の指導内容の確認や公職選挙法に関する講義等を実施している。

※ 平成27年度中に、全校で文部科学省の副教材を活用し、公職選挙法や選挙の具体的な仕組みに関する指導や、民主政治の基本である話し合いや討論に関する指導、さらに、政治や選挙に関する制度やその意義の理解を深める指導等を実施している。

(2) 政治的教養を育む教育の取組例（予定含む）

学校名 (学年)	事業名	実施月	具体的な内容
伏見工業 (3年生)	京都弁護士会と連携した学習活動	28年6月	・京都弁護士会から講師を招聘し、公職選挙法に則り有権者として適切に行動できるよう、同法や選挙の具体的な仕組みに関する学習活動を実施。
西京 (2年生)	本市学習指導案集を活用した課題解決型学習「京都に鉄道の新路線を引くなら」	28年11月	・日本史及び地理の時間を活用し、京都市域に鉄道を新設する場合の政治過程についてシミュレーションを行い、自らが住む地域や町づくりに対する興味・関心を喚起する。
堀川音楽 (3年生)	教科学習の時間を活用した模擬投票	28年7月	・現代社会の時間を活用し、模擬投票の取組を実施。

学校名 (学年)	事業名	実施月	具体的な内容
堀川 (2年生)	学生団体と連携した 参議院選挙に関する 模擬投票	28年7月	・現代社会の時間を活用し、学生団体「ivote 関西」と連携を図り、今夏の参議院議員選挙を題材に、立候補者や政党のマニフェスト等について話し合い活動を行い、その内容を踏まえて、生徒一人ひとりが校内に設置される模擬投票所で各自の判断によって参加・投票を行う。
日吉ヶ丘 (3年生)	学生団体と連携した 模擬投票体験	28年6月	・特別活動(LHR)の時間を活用し、学生団体「ivote 関西」から招聘した講師が模擬候補者となり、選挙公約(マニフェスト)の演説を行った後、生徒が投票体験を行う。 ・その後、講師から選挙の仕組みの概要や情報収集の重要性等に関する講演を行い、生徒が自らの取組を振り返る機会を設ける。
塔南 (3年生)	模擬投票及び模擬請 願の実施	28年9月 ～12月	・総合的な学習の時間を活用し、模擬投票及び模擬請願を実施し、選挙の仕組みや地域課題の把握を目指す取組を実施予定。

(3) 地域連携・貢献事業や社会課題解決への取組例(予定含む)

学校名 (学年)	事業名	実施月	具体的な内容
洛陽工業 (2・3年生)	唐橋地区一斉清掃への参加(生徒有志)	28年6月 ～12月 (休日)	・唐橋小学校区の一斉清掃活動に参加。 ・西寺公園・琵琶塚公園周辺のゴミ収集や公園内の雑草駆除を地域の方々と共に行う。
	陸前高田さくらプロジェクト(生徒有志)	28年9月 (休日)	・京都工学院高校との合同事業として、岩手県陸前高田市を訪問し、桜の植樹活動や仮設住宅の訪問を行うとともに、被災地に必要とされている技術等について考察し、課題研究や実習にフィードバックさせる。

学校名 (学年)	事業名	実施月	具体的な内容
洛陽工業 (2・3年生)	桂川クリーン大作戦への参加(生徒有志)	29年2月 (休日)	・桂川流域クリーンネットワークが主催する桂川流域の清掃活動に参加。
伏見工業 (3年生)	産官学及び地域との連携を通じた防災まちづくり学習	28年6月～ 29年1月	・地域との連携やフィールドワーク、ワークショップ等を通して、まちづくりに対する認識を深めるとともに、防災の専門家に講義及び指導・助言をいただき、地域特有の課題や問題について考察する防災まちづくり学習を実施。
	3D-VRを活用した地域活性化プラン	28年6月～ 29年1月	・専門の技術者を講師として招聘し、3D-VR(バーチャル・リアリティ=仮想現実)ソフトを活用して、景観や交通に関する3次元リアルタイムシミュレーションを構築。地域社会の発展や貢献に寄与することを目指す。
	京都大学防災研究所との連携事業(地域防災のあり方学習) (生徒有志・2年生含む)	28年7月 (休日)	・京都大学防災研究所との連携のもと、先端技術であるGIS(地理情報システム)を活用した防災シミュレーションを実施し、我が国の今日的課題である防災・減災に関する技術・工学について考察するとともに、地域社会が求める安心・安全な都市の構築について学習を行う。
	東高瀬川ステキ改善プロジェクト	28年9月～ 11月	・地元の東高瀬川への理解や関心を育むことを目的に、伏見区役所や深草支所、砂川学区の住民の方々と交流した笹船づくりを行う。

学校名 (学年)	事業名	実施月	具体的な内容
銅駝 美術工芸 (1・2年 生)	復興支援ボランティア活動(生徒有志)	28年8月 (夏季休業期間)	<ul style="list-style-type: none"> これまでから、被災地の美術高校である宮城県宮城野高等学校・東北生活文化大学高等学校と連携した「虹のアートプロジェクト」の一環として同校生徒作品を寄付。 今年度も宮城野高校との交流会や、生徒が仮設住宅を訪問して被災者とのワークショップを予定。
堀川音楽 (1～3 年生)	第12回京都市異音楽フェスティバル 2016への出演	28年10月 (休日)	<ul style="list-style-type: none"> 城巽地域の方々とともに音楽フェスティバルを開催し、その準備から本番に至る取組を通じて、社会の一員としての自覚や責任感を育む。
京都 工学院 (1年生)	陸前高田さくらプロジェクト(生徒有志)	28年9月 (休日)	<ul style="list-style-type: none"> 洛陽工業高校との合同事業として、岩手県陸前高田市を訪問し、桜の植樹活動や仮設住宅の訪問を行うとともに、被災地に必要とされている技術等について考察し、課題研究や実習にフィードバックさせる。
堀川 (3年生)	学生団体と連携した 難民問題に関する ワークショップ	28年6月	<ul style="list-style-type: none"> 特別活動(LHR)の時間を活用し、東京で活動している学生団体「SOAR」と連携した難民問題に関するワークショップを実施。 世界の政治的課題や現実的な問題について学習し、主体性や協働性を養うことを目的とする。
紫野 (2年生)	学校周辺地域の「防 災マップ」作成	28年9月	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時に生徒を含めた地域住民が迅速・的確に避難する「防災マップ」を作成し、自らが住む地域にどのような災害の可能性があり、自主的にどのように行動すればよいのかを理解することで、地域貢献の視点を養う。

2 市立中学校の取組について

(1) 選挙管理委員会職員による出前授業

ア 実施校

- ・ 平成27年度 松原中学校（3年生，10月実施）
洛西中学校（3年生，11月実施）
- ・ 平成28年度 実施時期等を希望校及び選挙管理委員会と調整中

イ 内容

- ・ 選挙の仕組みなどに関するクイズ
- ・ 選挙管理委員会職員が立候補者役になり，公約を掲げての模擬選挙を実施

(2) 「政治的教養を育む教育」実践モデル校11校での取組

ア 指定校

衣笠中，京都御池中，下京中，洛南中，東山泉中，高野中，山科中，嵯峨中，洛西中，藤森中，栗陵中

イ 内容

- ・ 本市独自の学習指導案集を活用した授業研究の推進
- ・ 京都弁護士会や大学教授を招いての出前授業の実施を予定

(3) 中学校教育研究会社会科部会と京都弁護士会との連携

- ・ 研究会社会科部会において，平成28年6月に開催した「政治的教養をはぐくむ教育」に関する自主勉強会で，京都弁護士会所属の4名の弁護士から助言を受ける。

(4) その他

生徒会選挙において，多くの中学校が区の選挙管理委員会から，本物の投票箱をお借りして，投票を行っている。